

EP-306

操作ガイド

NPD4918-00d

もくじ

こんなことができます

マニュアルの見方

マニュアルの見方	5
記号の意味	5
表記	5
ご注意	5

各部の名称と働き

本体	7
操作パネル	9

セットの仕方

印刷用紙のセット	11
印刷できる用紙と設定	11
使用できない用紙	14
取り扱い上のご注意	15
下トレイ	15
上トレイ	18
手差し給紙	20
ディスクのセット	24

プリンターだけで使う

デジタルカメラから印刷	26
USB 接続で印刷	26
無線 LAN で印刷	27

困ったときは

詰まった用紙の取り除き方	29
プリンター内部	29
手差し給紙部	30
プリンター背面部	30
用紙トレイ部	31
ランプが点灯・点滅している	31
さまざまなトラブル	35
印刷品質	35
電源・操作パネル	37
給紙・排紙	37
その他	38

メンテナンス

インクカートリッジの交換	39
インクカートリッジの交換	39
取り扱い上のご注意	43
ノズルチェックとヘッドクリーニング	44
内部のクリーニング	46
輸送の仕方	47

製品仕様とご注意

製品仕様とご注意	49
総合仕様	49
インクカートリッジ型番	50
有線 LAN 仕様	50
無線 LAN 仕様	51
対応画像ファイル	51
印刷領域（単位 mm）	52
規格と規制	52
注意事項	54

サービス / サポートのご案内

サービス / サポートのご案内	57
お問い合わせの前に	57
お問い合わせ先	60

こんなことができます

Epson Connect でどこでもプリント

モバイル & クラウドプリントサービスでメールやインターネットなどのあらゆるコンテンツを「いつでも」「どこでも」「快適に」プリントできます。

➔ <http://www.epsonconnect.com/>



スマートフォンでプリント

アプリケーションソフトをインストールすると、3D フレーム 印刷や Web、写真などの印刷ができます。



➔ <http://ipr.to>

写真を入れたオリジナルのディスクレーベルを作ろう



マニュアルの見方

マニュアルの見方

記号の意味

マーク	内容
 重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
 参考	補足情報や参考情報を記載しています。
 →	参照（ガイド内） 関連したページへジャンプします。
 ↓	参照（ページ内） ページ内の項目へジャンプします。
【 】	ボタン名を示します。

表記

- Microsoft(R) Windows(R) XP operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows Vista(R) operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 7 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 8 operating system 日本語版

本書中では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows XP」「Windows Vista」「Windows 7」「Windows 8」と表記しています。

また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

本書中では、OS X Lion を「Mac OS X v10.7.x」、OS X Mountain Lion を「Mac OS X v10.8.x」と表記しています。

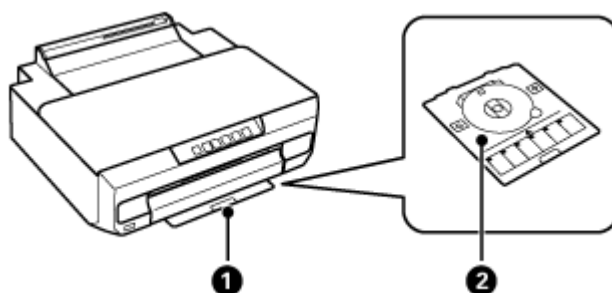
ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。

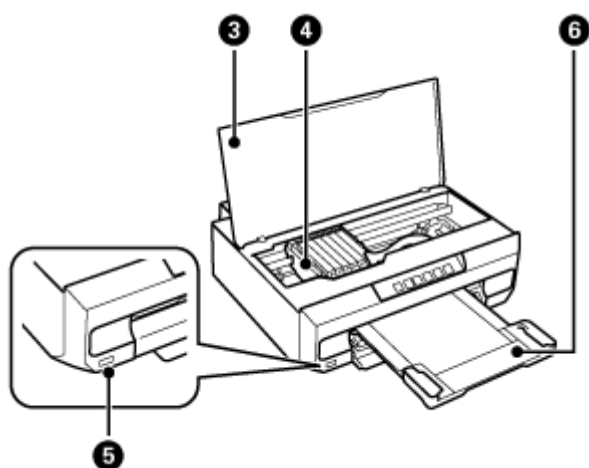
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

各部の名称と働き

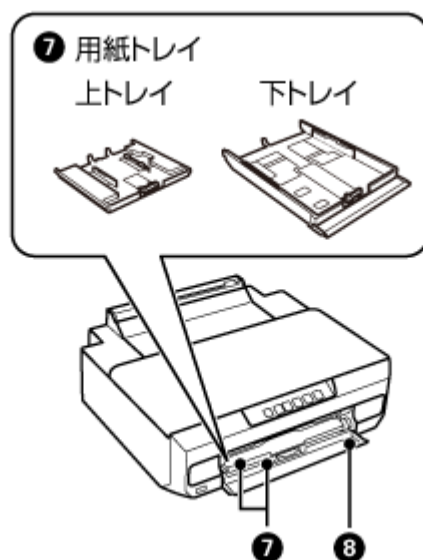
本体



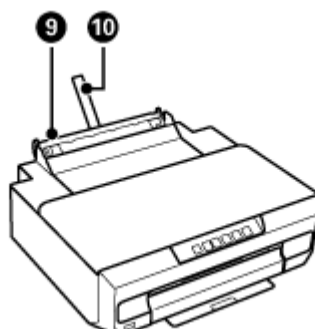
①	使い終わったディスクトレイはここに収納してください。
②	ディスクトレイ 印刷用ディスクをセットします。印刷が終了すると自動排出されます。



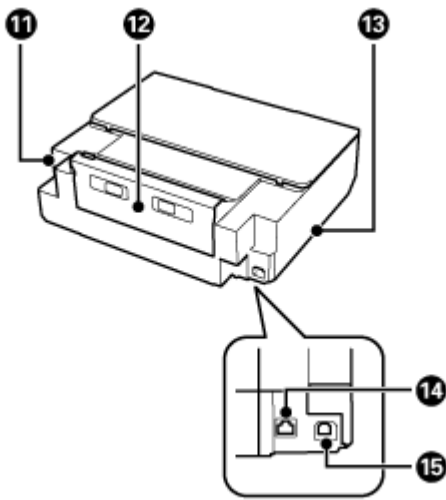
③	プリンターカバー インクカートリッジの交換や、詰まった用紙を取り除くときに開けます。
④	プリントヘッド（ノズル） インクを吐出します。
⑤	外部機器接続ポート PictBridge 対応機器を接続します。
⑥	排紙トレイ 印刷された用紙を保持します。手で引き出し、収納するときは手で押して戻してください。



⑦	用紙トレイ（上トレイ / 下トレイ） 印刷用紙をセットします。 ➔ 「印刷できる用紙と設定」 11 ページ
⑧	前面カバー 用紙をセットするときに開けます。

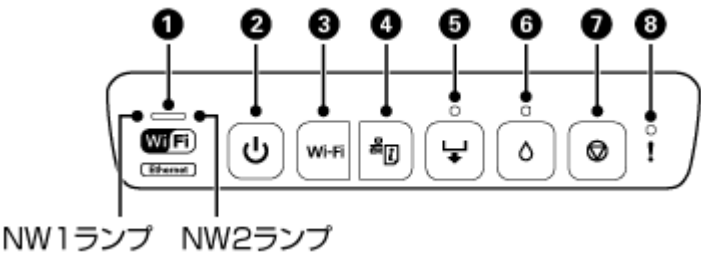


⑨	手差し給紙 手差し印刷をするときに、印刷用紙を 1 枚セットします。
⑩	用紙サポート セットした用紙を支えます。



11	電源コネクター 電源コードを接続します。
12	背面ユニット 背面に詰まった用紙を取り除くときに取り外します。
13	通風口 内部で発生する熱を放出します。左右の下部にある通風口をふさがないように設置してください。
14	LAN ポート LAN ケーブルを接続します。
15	USB ポート パソコンに接続する USB ケーブルを接続します。

操作パネル



名称		働き
1	ネットワークランプ NW1 ランプ (左) NW2 ランプ (右)	- 無線 LAN 接続中は NW1 ランプ (左) が点灯 (緑色) します。 - 有線 LAN 接続中は NW2 ランプ (右) が点灯 (黄色) します。 - ネットワーク通信中は NW1 (左) が点滅します。 - ネットワーク設定の初期化中などは NW1 (左) と NW2 (右) が交互点滅します。

名称		働き
②	【電源】 ボタン / 電源ランプ	電源の入 / 切をします。 電源ランプの点滅時（動作中、データ処理中やインクカートリッジ交換中など）は電源を切らないでください。 電源プラグは電源ランプ消灯時に抜いてください。
③	【Wi-Fi】 ボタン	無線 LAN 設定時に 3 秒以上押すと設定を開始します。ネットワークエラーが発生したときに押すとエラーを解除します。詳しくは『ネットワークガイド』をご覧ください。
④	【NW ステータスシート】 ボタン	ネットワークの設定と接続状態を確認できるネットワークステータスシートを印刷します。WPS の PIN コード自動設定時に必要な PIN コードも印刷されます。
⑤	【給紙】 ボタン / 給紙ランプ	- 用紙やディスクトレイのセット時に押します。 - 紙なしや紙詰まり時にランプが点灯・点滅します。 ➡ 「ランプが点灯・点滅している」 31 ページ
⑥	【インク】 ボタン / インクランプ	- プリンターカバーを開けてから押すと、インクカートリッジの交換ができます。 ➡ 「インクカートリッジの交換」 39 ページ - 長押し（3 秒）すると、プリンターのヘッドクリーニングを開始します。 - インクカートリッジの交換が必要になったときはランプが点灯し、インクが残り少なくなったときは点滅します。
⑦	【ストップ】 ボタン	印刷中に押すと、印刷を中止して用紙やディスクを排出します。
⑧	エラーランプ	印刷時に排紙トレイが出ていない、プリンターカバーが開いているときなどに点灯・点滅します。 ➡ 「ランプが点灯・点滅している」 31 ページ

ボタンの組み合わせで実行できる機能があります。

組み合わせ	働き
③ + ②	印刷前の用紙サイズ確認機能の有効 / 無効を切り替えます。電源を切ってから【Wi-Fi】 ボタンを押したまま電源を入れ直してください。購入時は有効になっています。有効のときは、印刷時の設定とセットした用紙サイズが異なる場合、用紙を排出して印刷を中止します。
③ + ④	【Wi-Fi】 ボタンと【NW ステータスシート】 ボタンを同時に押すと、WPS の PIN コード自動設定を開始します。 ➡ 『ネットワークガイド』 - 「プリンター単体で設定」 - 「PIN コード自動設定」
④ + ②	電源を切ってから【NW ステータスシート】 ボタンを押したまま電源を入れると、ネットワークの設定を購入時の状態に戻します（初期化）。
⑥ + ②	電源を切ってから【インク】 ボタンを押したまま電源を入れると、ノズルチェックパターンを印刷します。 ➡ 「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 44 ページ
⑦ + ②	こすれ軽減機能の有効 / 無効を切り替えます。電源を切ってから【ストップ】 ボタンを押したまま電源を入れ直してください。購入時は無効になっています。印刷結果がこすれて汚れるときだけ有効にしてください。有効のときは印刷速度が遅くなることがあります。

セットの仕方

印刷用紙のセット

印刷できる用紙と設定

パソコンから印刷時の対応用紙は以下の表をご覧ください。よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙のご使用をお勧めします。以下は 2013 年 5 月現在の情報です。

エプソン製専用紙（純正品）

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数			印刷できる面
		上トレイ	下トレイ	手差し給紙※ 1	
写真用紙クリスピー＜高光沢＞※ 2 ※ 3	L 判・KG サイズ・2L 判	20 枚※ 4	20 枚※ 4	1 枚	より光沢のある面
	六切・A4	×	20 枚※ 4	1 枚	
写真用紙＜光沢＞※ 2	L 判・KG サイズ・2L 判・ハイビジョンサイズ	20 枚※ 4	20 枚※ 4	1 枚	
	六切・A4	×	20 枚※ 4	1 枚	
写真用紙＜絹目調＞※ 2	L 判・2L 判	20 枚※ 4	20 枚※ 4	1 枚	
	A4	×	20 枚※ 4	1 枚	
	ハガキ	20 枚※ 4	40 枚※ 4 ※ 5	1 枚	両面
写真用紙ライト＜薄手光沢＞※ 2	L 判・KG サイズ・2L 判	20 枚※ 4	20 枚※ 4	1 枚	より光沢のある面
	A4	×	20 枚※ 4	1 枚	
写真用紙エントリー＜光沢＞※ 2	L 判・KG サイズ・2L 判	20 枚※ 4	20 枚※ 4	1 枚	
	A4	×	20 枚※ 4	1 枚	
フォト光沢紙※ 3 ※ 6	A4	×	20 枚	1 枚	
スーパーファイン紙	A4	×	80 枚	1 枚	より白い面
スーパーファイン専用ラベルシート	A4	×	1 枚	1 枚	白い面
スーパーファイン専用ハガキ	ハガキ	20 枚	40 枚※ 5	1 枚	両面
フォトマット紙	A4	×	20 枚	1 枚	より白い面
両面マット名刺用紙	A4	×	1 枚	1 枚	両面
Velvet Fine Art Paper（ペルベットファインアートペーパー）	A4	×	×	1 枚	より白く凹凸の少ない面
両面上質普通紙＜再生紙＞	A4	×	80 枚※ 5	1 枚	両面
ミニフォトシール※ 7	ハガキ（16 分割）	1 枚	1 枚	1 枚	コーナーカットが右上にくる面

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数			印刷できる面
		上トレイ	下トレイ	手差し給紙※ 1	
フォトシールフリーカット※ 7	ハガキ	1 枚	1 枚	1 枚	白い面
アイロンプリントペーパー	A4	×	1 枚	1 枚	
フォトカード< 3D フレーム >※ 8	ハガキ	×	×	1 枚	より白い面

× 非対応です。

※ 1 厚さが 0.05mm ～ 0.6mm までの用紙に対応しています。この範囲内であっても硬さによっては正しく給紙されないことがあります。

※ 2 Epson Color 対応用紙

※ 3 パッケージに入っているクリーニングシートは本製品では使用できません。

※ 4 印刷結果がこすれたりムラになったりするときは 1 枚ずつセットしてください。

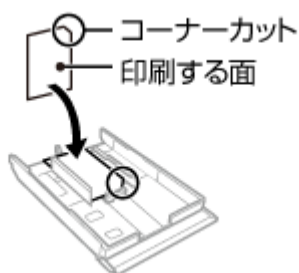
※ 5 片面に印刷済みの用紙は 30 枚（写真用紙< 絹目調 >ハガキは 20 枚）まで

※ 6 フォト光沢紙のパッケージに入っている取扱説明書を、給紙を安定させるための補助シートとしてお使いください。

裏面（何も書かれていない面）を上にしてセットし、その上にフォト光沢紙をセットします。

※ 7 シール用紙のパッケージに入っている給紙補助シートは、本製品では使用しません。

ミニフォトシールは下図のようにセットしてください。



※ 8 スマートフォン専用の 3D フレーム印刷用アプリから印刷できます。App Store (iOS の場合) または Google Play (Android の場合) からダウンロードできます。用紙のセット方法はアプリケーションソフトの画面に従ってください。

市販の用紙

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数			印刷できる面
		上トレイ	下トレイ	手差し給紙※ 1	
コピー用紙・事務用普通紙	A4・B5・A5・Letter	×	用紙ガイド の上限まで ※ 2  △マーク上 の線を超え ない	1 枚	両面
	Legal	×	1 枚	1 枚	
	A6	20 枚	20 枚	1 枚	
	ユーザー定義サイズ	×	1 枚※ 3	1 枚	

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数			印刷できる面
		上トレイ	下トレイ	手差し給紙※ 1	
郵便ハガキ※ 4	ハガキ	20 枚	40 枚※ 2	1 枚	両面
郵便ハガキ（インクジェット紙）※ 4	ハガキ	20 枚	40 枚※ 2	1 枚	
郵便ハガキ（写真用）※ 4	ハガキ	20 枚	40 枚※ 2	1 枚	
往復ハガキ※ 4	往復ハガキ	×	20 枚	1 枚	
封筒	長形 3 号・4 号	×	10 枚	1 枚	両面
	洋形 1 号・2 号・3 号・4 号	×	10 枚	1 枚	宛名面のみ

× 非対応です。

※ 1

・厚さが 0.05mm ～ 0.6mm までの用紙に対応しています。この範囲内であっても硬さによっては正しく給紙されないことがあります。

・穴あき用紙（一般的なルーズリーフ用紙や A4 サイズの 2 穴紙など）、慶弔用ハガキや写真店などでプリントしたハガキも印刷できます。

※ 2 片面に印刷済みの用紙は 30 枚まで

※ 3 A4 サイズより長い用紙は、手差し給紙にセットしてください。

※ 4 日本郵便株式会社製

【用紙種類】の設定

最適な印刷結果を得るためには、印刷用紙に適した【用紙種類】を設定してください。

用紙名称	【用紙種類】の設定
写真用紙クリスピー＜高光沢＞	EPSON 写真用紙クリスピー
写真用紙＜光沢＞ 写真用紙＜絹目調＞	EPSON 写真用紙
写真用紙＜絹目調＞ハガキ	宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON 写真用紙
写真用紙ライト＜薄手光沢＞	EPSON 写真用紙ライト
写真用紙エントリー＜光沢＞	EPSON 写真用紙エントリー
フォト光沢紙	EPSON フォト光沢紙
スーパーファイン紙 スーパーファイン専用ラベルシート	EPSON スーパーファイン紙
スーパーファイン専用ハガキ	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便 IJ ハガキ
フォトマット紙	EPSON フォトマット紙
Velvet Fine Art Paper（ベルベットファインアートペーパー）	Velvet Fine Art Paper
両面上質普通紙＜再生紙＞ コピー用紙・事務用普通紙	普通紙
ミニフォトシール フォトシールフリーカット	EPSON フォトシール
アイロンプリントペーパー	EPSON アイロンプリントペーパー
フォトカード＜ 3D フレーム＞	-

用紙名称	【用紙種類】 の設定
郵便ハガキ※ 1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ
郵便ハガキ（インクジェット紙）※ 1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）
郵便光沢ハガキ（写真用）※ 1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便光沢ハガキ
往復ハガキ※ 1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ
封筒※ 2	封筒
両面マット名刺用紙※ 2	EPSON 両面マット名刺用紙

※ 1 日本郵便株式会社製

※ 2 両面マット名刺用紙、長形 3 号・4 号封筒は、Windows パソコンからの印刷のみに対応しています（Mac OS X は非対応）。

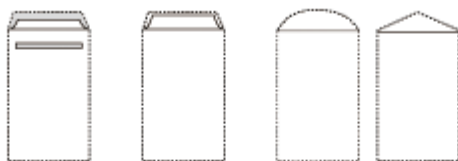
使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

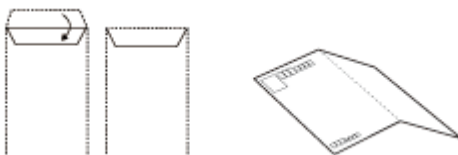
- 波打っている、破れている、切れている、折りがある、湿っている、反っている、丸まっている、シールなどが貼ってある用紙



- 糊付けまたは接着の処理が施された封筒、二重封筒、窓付き封筒、フラップが円弧や三角形の長形封筒や角形封筒



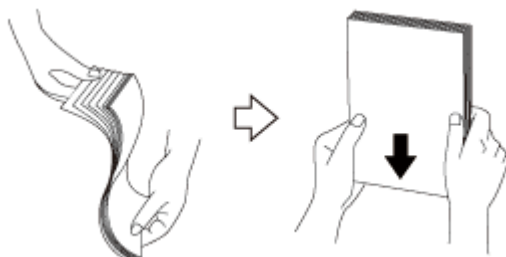
- フラップを一度折った長形封筒、一度折った往復ハガキ



- 写真店などでプリントした写真ハガキや絵ハガキなど、厚いハガキ（ただし手差し給紙のみ印刷可）

取り扱い上のご注意

- 用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている注意事項をご確認ください。
- 用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、側面を整えてください。ただし、写真用紙はさばいたり、反らせたりしないでください。印刷する面に傷が付くおそれがあります。



- 封筒をセットするときは、よくさばいて側面を整えてください。膨らんでいるときは平らになるように手でならし、膨らみを取り除いてください。



- ハガキへの両面印刷は、片面印刷後しばらく乾かし、反りを修正して（平らにして）からもう一方の面に印刷してください。宛名面から先に印刷することをお勧めします。



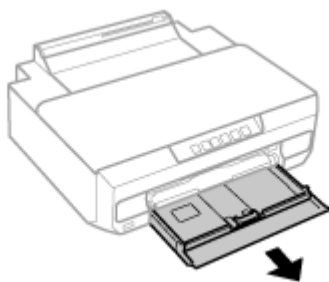
下トレイ

印刷用紙は以下の手順でセットします。

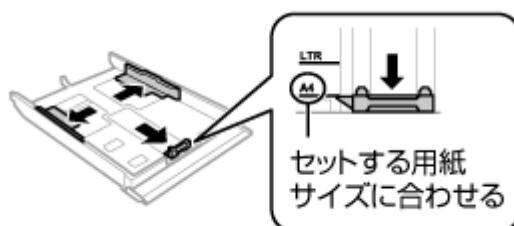
1. 前面カバーを開けます。



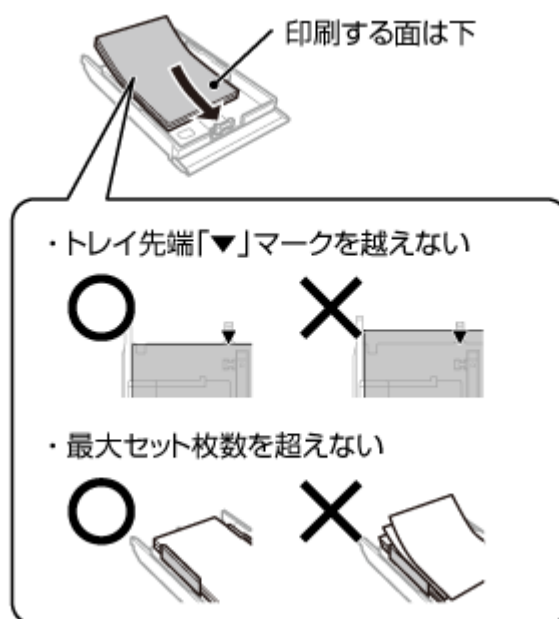
2. 下トレイを抜きます。



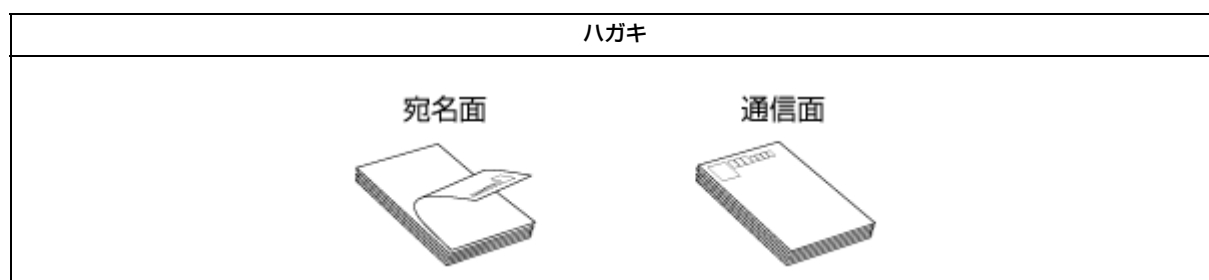
3. 用紙ガイドを広げて、用紙サイズに合わせます。

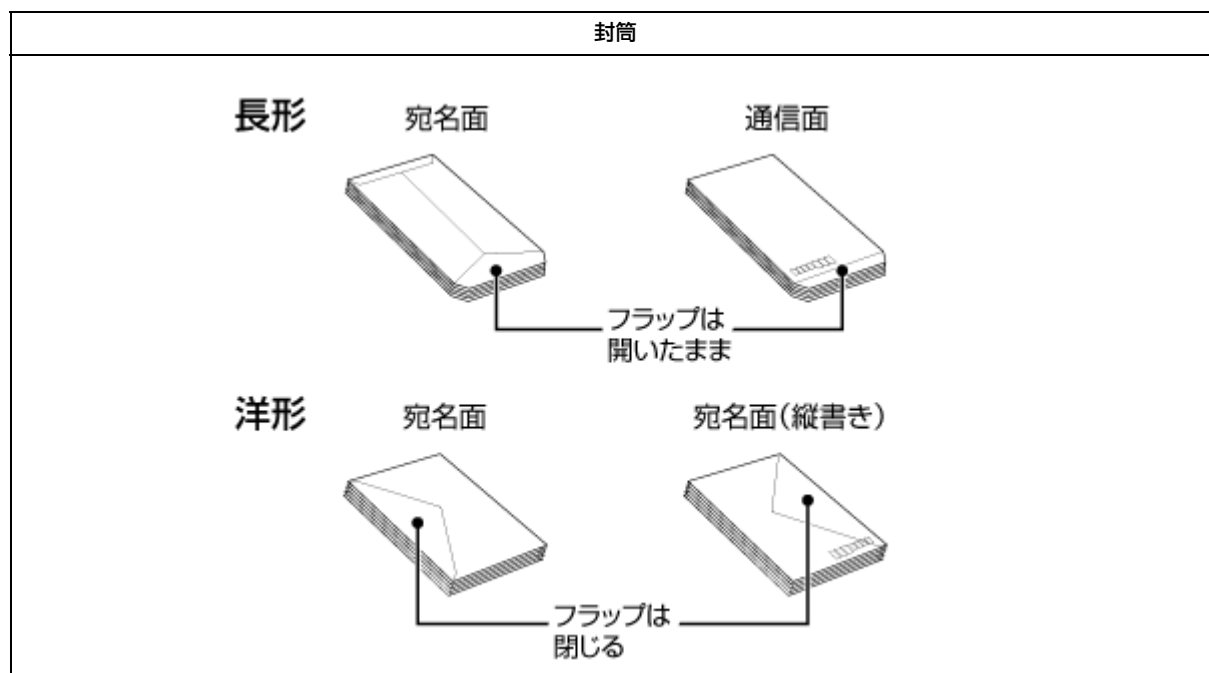
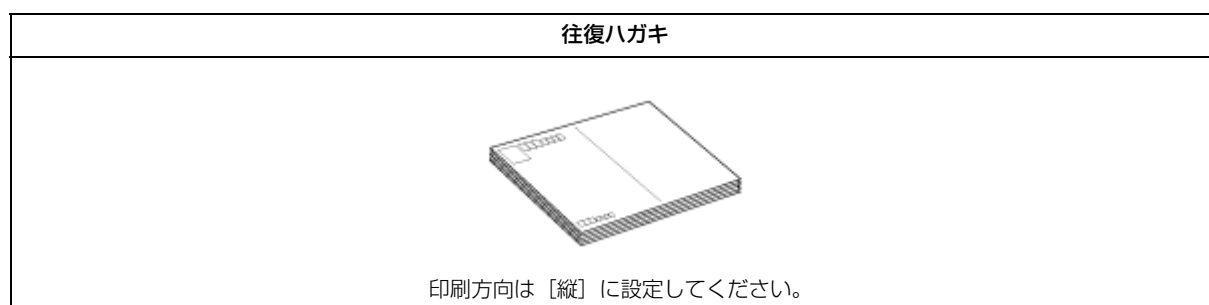


4. 印刷する面を下にして、手前の用紙ガイドに合わせてセットします。

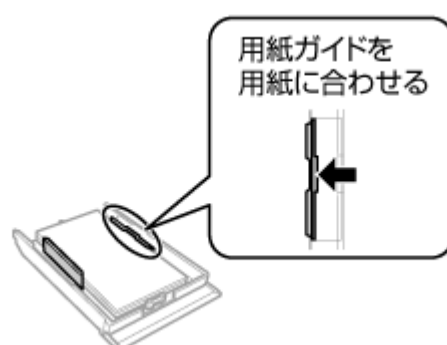


ハガキや封筒などは印刷する面を下にして、以下のようにセットしてください。

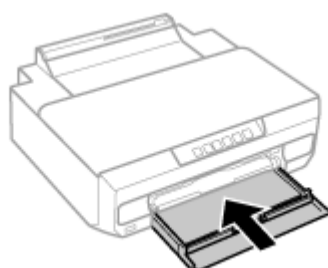




5. 用紙ガイドを用紙に合わせます。



6. 下トレイをセットします。

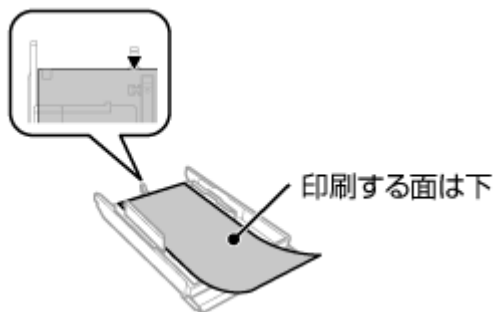




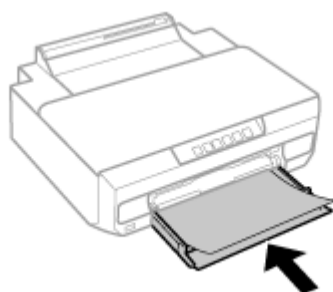
参考

A4 サイズより大きい用紙をセットするときは、上トレイを取り外したまま、下図のように下トレイに用紙を 1 枚だけセットしてください。

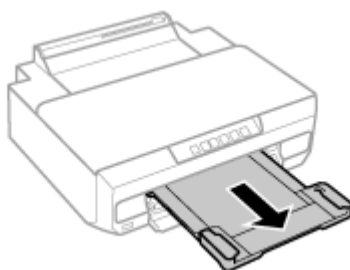
▼マークに合わせて用紙を 1 枚のみセットする



下トレイを本体にゆっくり挿入する



7. 排紙トレイを引き出します。



8. パソコンから印刷データを送信して印刷します。

以上で終了です。

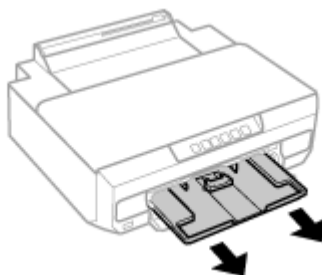
上トレイ

印刷用紙は以下の手順でセットします。

1. 前面カバーを開けます。



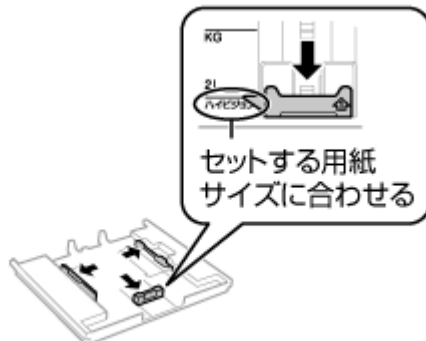
2. 上トレイを抜きます。



参考

上トレイが奥に入っていて取り出せないときは、電源を入れ直すと取り出せるようになります。

3. 用紙ガイドを広げて、用紙サイズに合わせます。



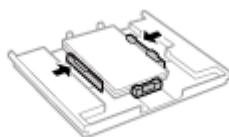
4. 印刷する面を下にして、手前の用紙ガイドに合わせてセットします。



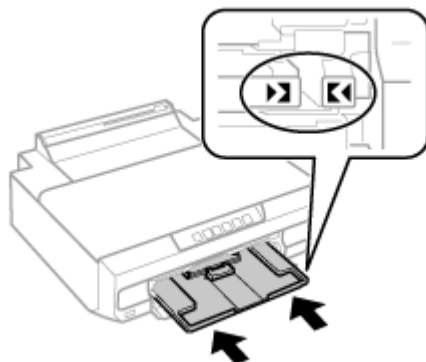
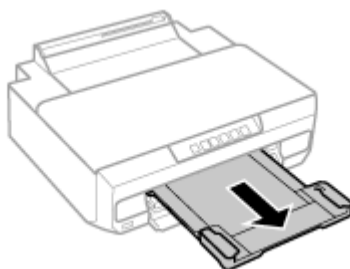
参考

トレイ先端「▼」マークや最大セット枚数を超えないようにしてください。また、ハガキや封筒などのセット方向は以下のページを参照してください。

➡ [「下トレイ」15 ページ](#)

5. 用紙ガイドを用紙に合わせます。**6. 上トレイをセットします。**

[>] [<] を合わせ、「カチッ」と音がする位置まで入れてください。

**7. 排紙トレイを引き出します。****8. パソコンから印刷データを送信して印刷します。**

以上で終了です。

手差し給紙

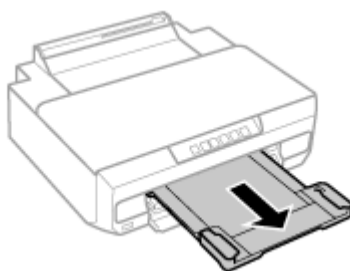
印刷用紙は以下の手順でセットします。

印刷前に、印刷データを準備してください。

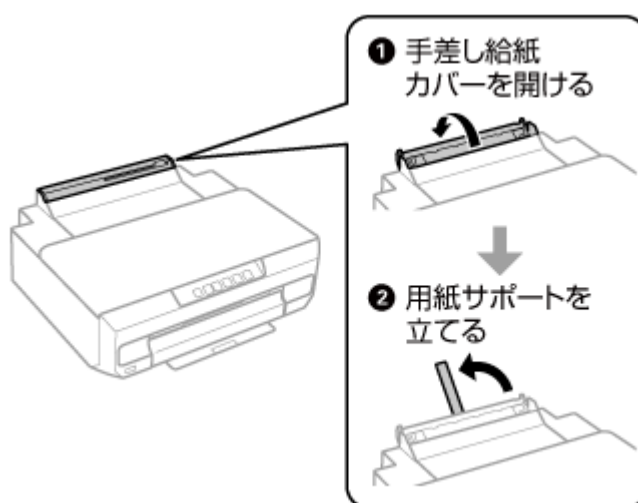
詳しくは以下をご覧ください。

➡ 『ユーザズガイド』（電子マニュアル） - 「印刷の基本」

1. 排紙トレイを引き出します。



2. 手差し給紙カバーを開けて、用紙サポートを立てます。



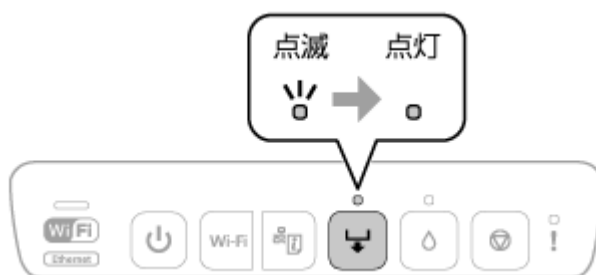
3. パソコンから印刷データを送信します。



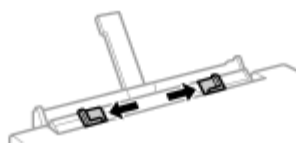
参考

印刷時の設定で「給紙方法」が「手差し給紙」になっていることを確認してください。

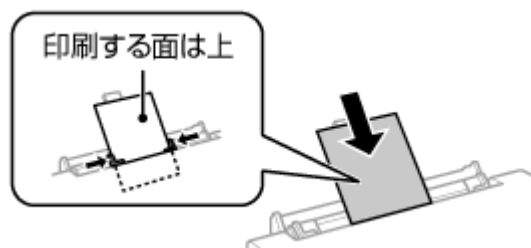
4. 操作パネルの給紙ランプが点滅から点灯に変わるまで待ちます。



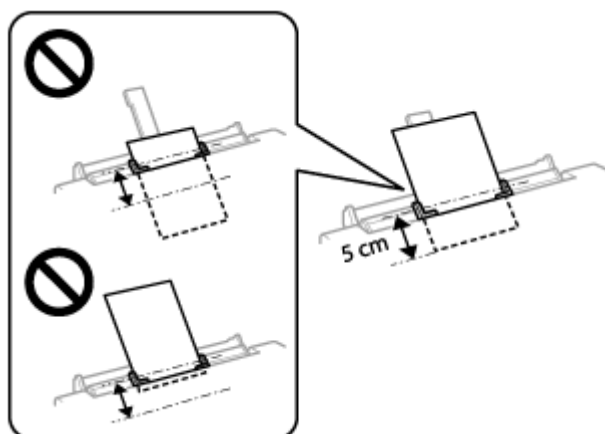
5. 用紙ガイドを広げて、用紙サイズに合わせます。



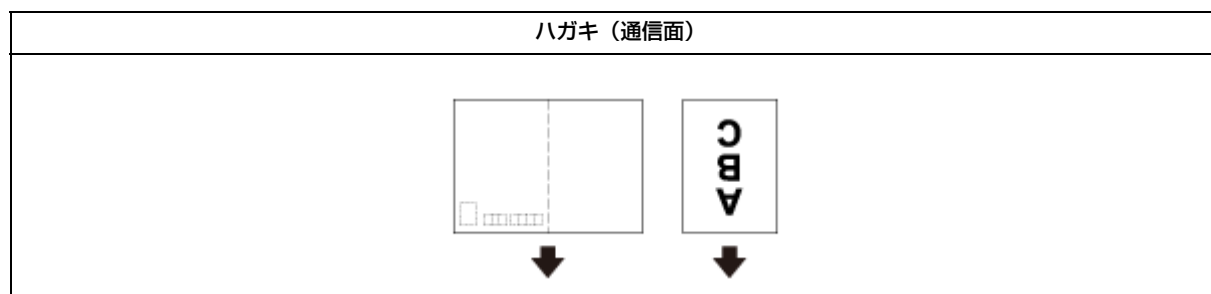
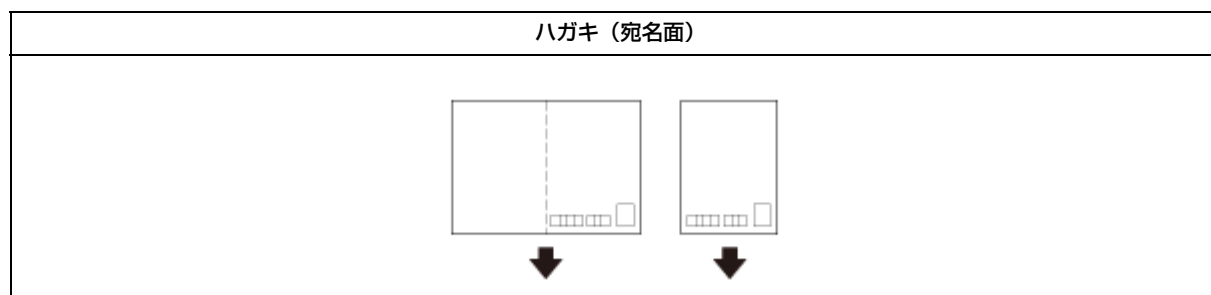
6. 用紙をセットして、用紙ガイドを用紙の側面に合わせます。

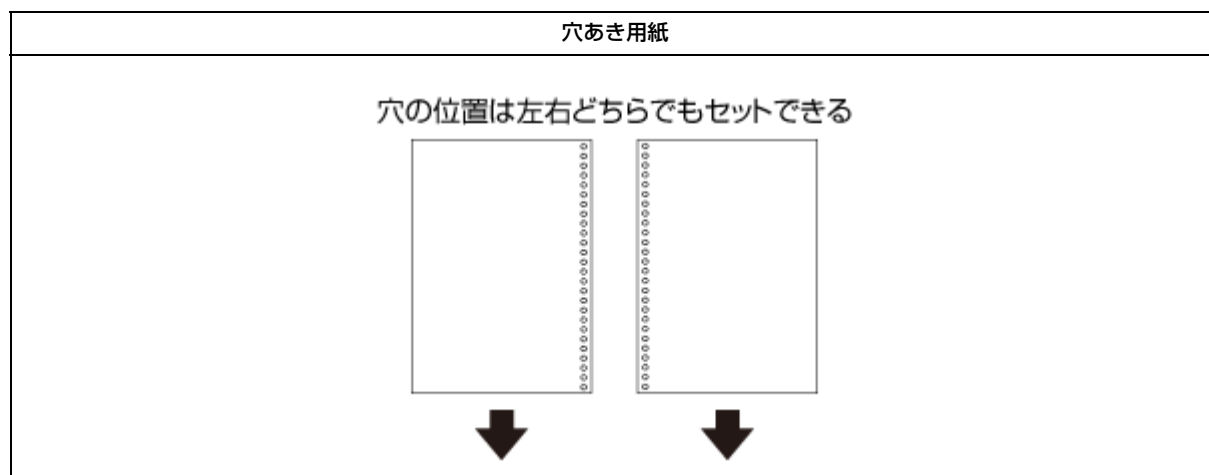
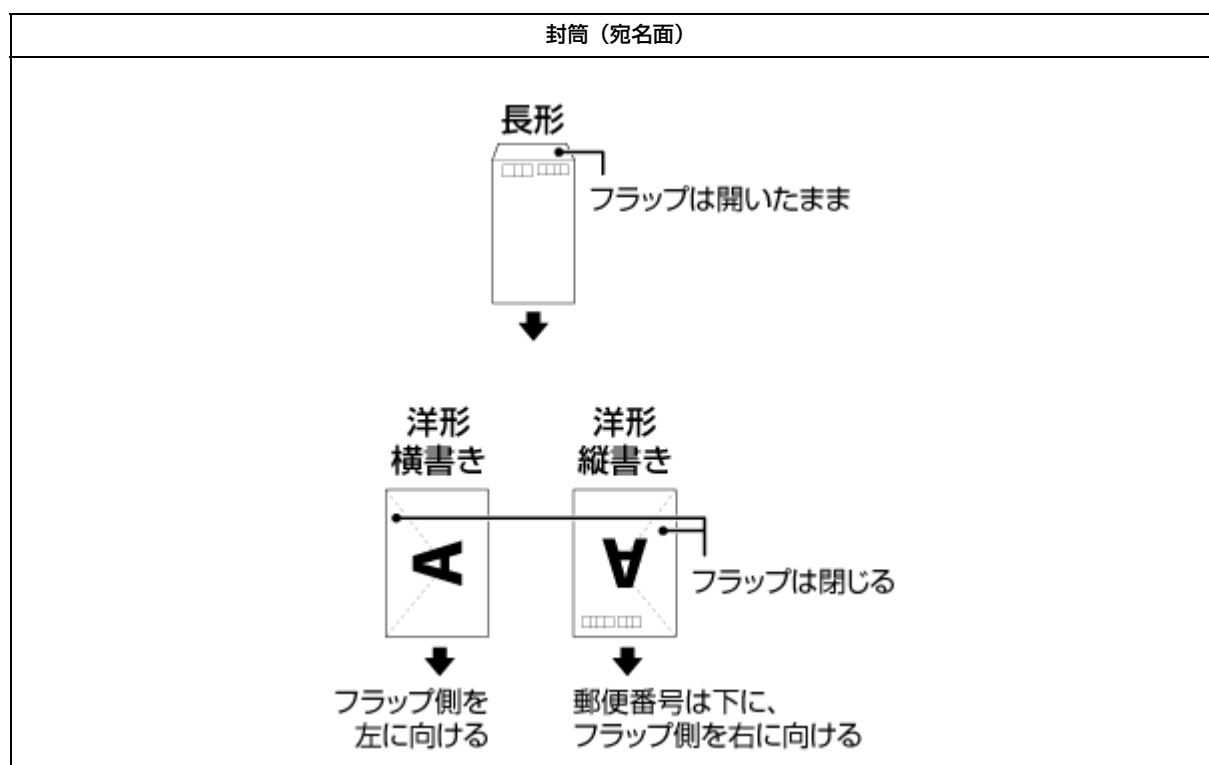


用紙の先端から約 5cm の部分を用紙ガイドのスリットに合わせてください。



ハガキや封筒などは印刷する面を手前にして、以下のようにセットしてください。





参考

- 穴位置にかからないように印刷データを調整してください。
- 穴あき用紙は手差し給紙のみ対応です。印刷前に用紙サイズ確認機能を無効に切り替えてから印刷してください。
➔ [「操作パネル」9 ページ](#)

7. 【給紙】 ボタンを押します。

用紙が給紙され、印刷が開始されます。

以上で終了です。

ディスクのセット

「レーベル面印刷可能」や「インクジェットプリンター対応」などと表記されている、12cm サイズのディスクに印刷できます。

印刷できることを確認したメディアの情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

➡ <http://www.epson.jp/support/taiou/media/>

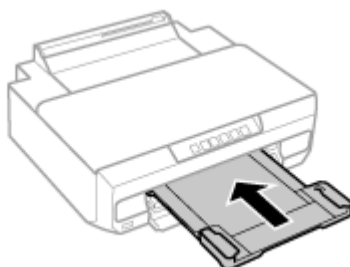
ディスクは以下の手順でセットします。

印刷前に、ディスクレーベルへの印刷データを準備してください。

詳しくは以下をご覧ください。

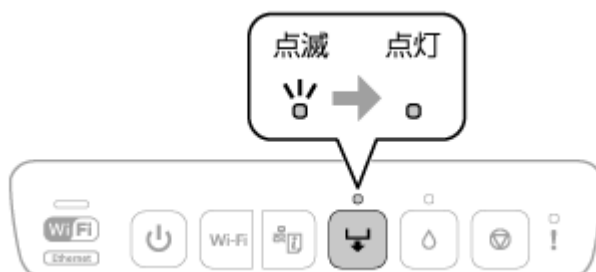
➡ 『ユーザーズガイド』（電子マニュアル） - 「ディスクレーベルの印刷」

1. 排紙トレイが出ているときは、トレイの上に何も無いことを確認し、手で押して戻します。



2. パソコンから印刷データを送信します。

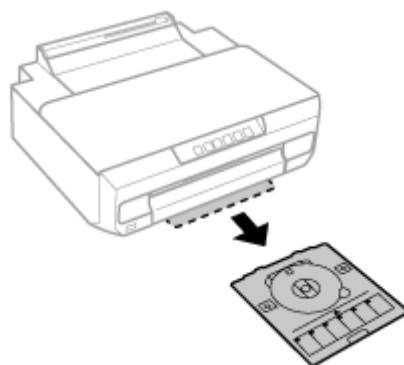
3. 操作パネルの給紙ランプが点滅から点灯に変わるまで待ちます。



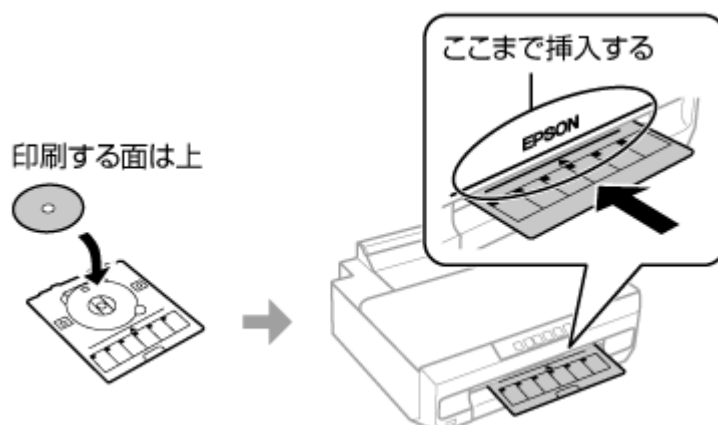
4. 前面カバーを開めます。



5. ディスクトレイを取り出します。



- 6.** ディスクトレイにディスクを載せ、ディスクトレイを本体に挿入します。

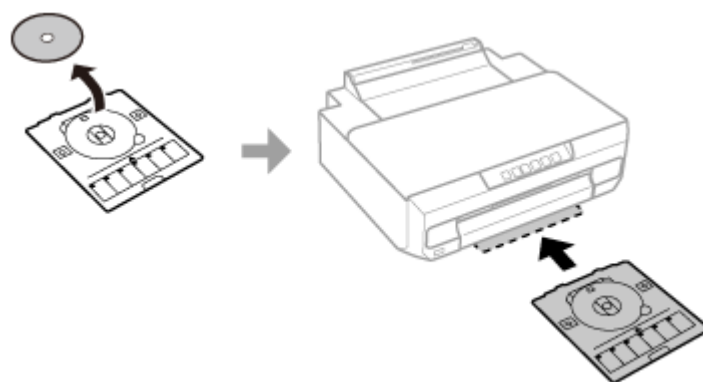


- 7.** 【給紙】 ボタンを押します。

ディスクトレイが引き込まれて印刷が開始されます。

- 8.** 印刷が終了するとディスクトレイは自動で排出されます。

ディスクを取り外して、ディスクトレイを本体の底面に収納してください。



重要

印刷後、ディスクトレイは必ず抜いてください。プリンターにセットした状態で、電源の入・切やプリントヘッドのクリーニングなどをすると、プリントヘッドとトレイ先端が接触して故障するおそれがあります。

以上で終了です。

プリンターだけで使う

デジタルカメラから印刷

PictBridge 対応のデジタルカメラから、USB 接続または無線 LAN で直接印刷できます。

デジタルカメラ側の操作手順は、デジタルカメラのマニュアルをご確認ください。



参考

通常はデジタルカメラの設定が優先されますが、以下の設定時は本製品の設定が反映されます。

- 設定値を「プリンター優先」に設定した場合、以下の設定値が反映されます。

設定項目	設定値
用紙サイズ	L 判
用紙種類	写真用紙
レイアウト	フチなし

- 本製品では実現不可能な設定のとき（この場合、実現可能な設定に自動的に調整されます。そのため、この調整結果が本製品側で設定した値と一致するとは限りません。）

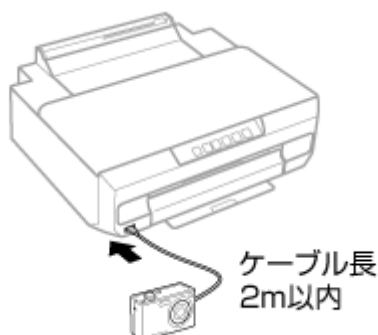
USB 接続で印刷

PictBridge 対応のデジタルカメラから、USB 接続で直接印刷できます。

1. 印刷用紙をセットします。

➡ [「印刷用紙のセット」 11 ページ](#)

2. デジタルカメラの電源を入れてから、USB ケーブルで本製品と接続します。



参考

接続時に給紙ランプとエラーランプが点滅したときは接続機器に問題があります。

➡ [「ランプが点灯・点滅している」 31 ページ](#)

3. 印刷する写真をデジタルカメラ側で選択し、印刷枚数などの設定をしてから印刷を開始します。

以上で終了です。

無線 LAN で印刷

DPS over IP 規格（以降、PictBridge（無線 LAN））に対応しているデジタルカメラからワイヤレスでプリントできます。

1. プリンターのネットワーク接続を確認します。



NW1ランプ(左) NW2ランプ(右)



無線 LAN（インフラストラクチャーモード）接続中
NW1 ランプ（左）が点灯（緑色）します。



有線 LAN 接続中
NW2 ランプ（右）が点灯（黄色）します。



ランプが消灯しているときは、『ネットワークガイド』（電子マニュアル）を参照してプリンターをネットワークに接続してください。

2. 印刷用紙をセットします。

➡ [「印刷用紙のセット」11 ページ](#)

3. デジタルカメラのネットワーク設定をします。

プリンターと同じネットワークに接続してください。

無線 LAN（インフラストラクチャーモード）、有線 LAN などの形態は問いません。

4. デジタルカメラから接続可能なプリンターの一覧を表示させて、接続するプリンターを選択します。

デジタルカメラから接続可能なプリンター名は、ネットワークステータスシートを印刷して確認します。



5. 印刷する写真をデジタルカメラ側で選択し、印刷枚数などの設定をしてから印刷を開始します。

6. PictBridge（無線 LAN）接続を解除します。

デジタルカメラからプリンターとの接続を解除します。

**重要**

PictBridge（無線 LAN）接続中は、プリンターの別の機能や他の機器からの印刷ができない状態になります。印刷が終了したら、速やかに接続を解除することをお勧めします。

以上で終了です。

困ったときは

詰まった用紙の取り除き方



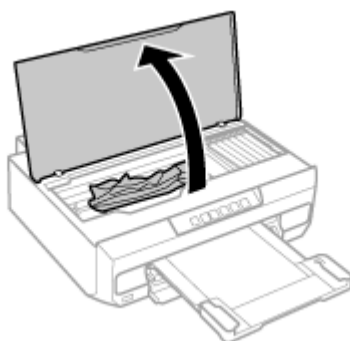
重要

用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張ると、本製品が故障することがあります。

画面の指示に従い、用紙が詰まっている（紙片がちぎれて残っている）箇所を確認して取り除いてください。
電源を切る指示が表示されたら、電源を切ってください。

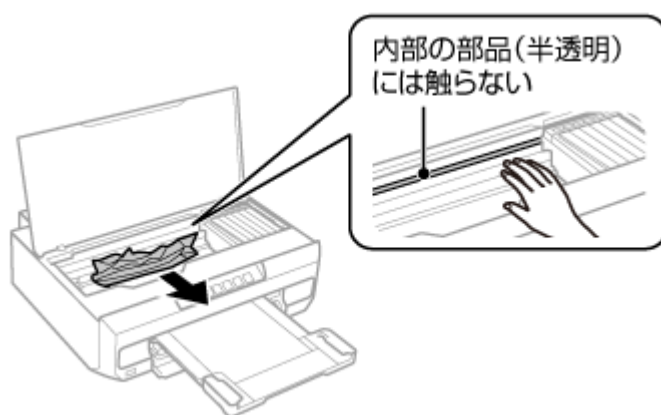
プリンター内部

1. プリンターカバーを開けます。



2. 詰まった用紙を引き抜きます。

内部の部品（半透明）には触らないでください。

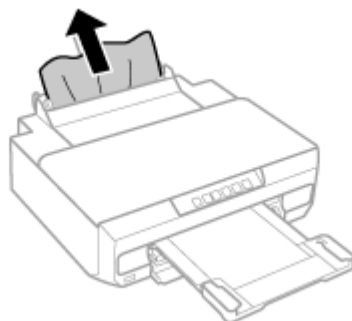


3. プリンターカバーを閉めます。

以上で終了です。

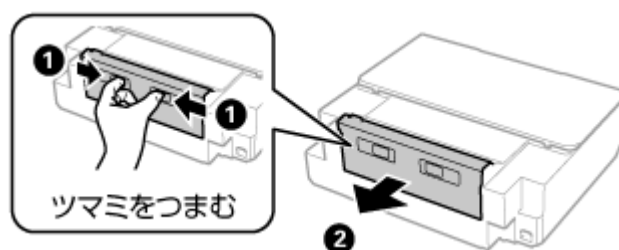
手差し給紙部

用紙を引き抜きます。

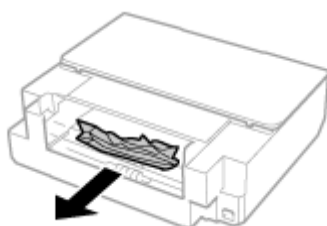


プリンター背面部

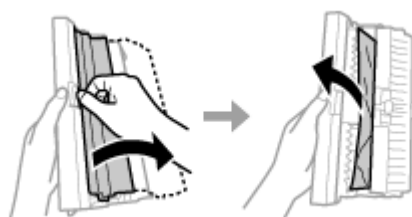
1. 背面ユニットを取り外します。



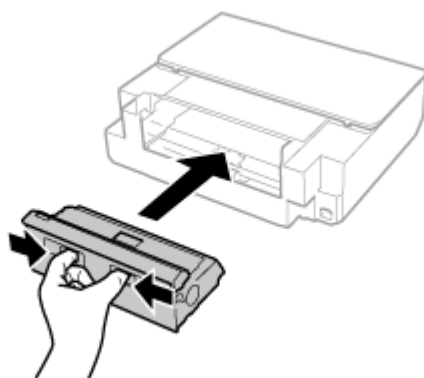
2. 本体側の用紙を取り除きます。



3. 背面ユニット側の用紙を取り除きます。



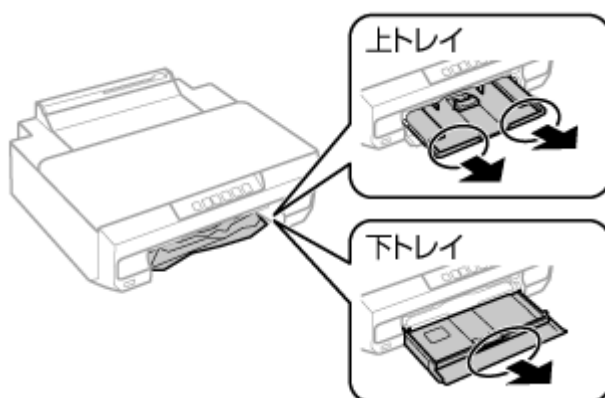
4. 背面ユニットを閉じてから本体に取り付けます。



以上で終了です。

用紙トレイ部

1. 用紙トレイを全て引き抜いて、用紙を取り除きます。



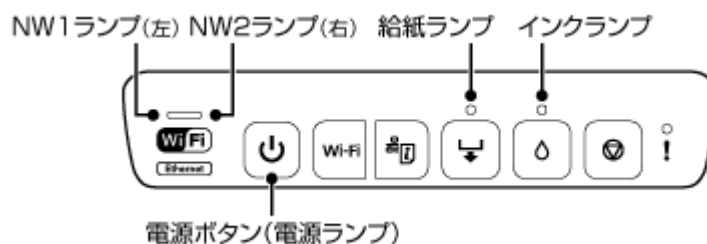
2. 用紙トレイをセットします。

以上で終了です。

ランプが点灯・点滅している

エラーが発生すると、下表のようにランプが点灯・点滅します。また、パソコンの画面にはエラーの詳細が表示されます。

➡ 『ユーザーズガイド』 - 「メンテナンス」



ランプの状態

	点灯
	点滅（ピカーピカー）
	点滅 2（ピカッピカッーピカッピカッー）
	高速点滅（ピカッピカッピカッ）

ランプ	状態	対処
	用紙トレイに用紙がセットされていません。	用紙トレイ（上 / 下トレイ）に用紙をセットし、【給紙】ボタンを押してください。 ➡ 「下トレイ」 15 ページ
	用紙が重なって給紙されています。	
	手差し印刷の準備ができました。	用紙を1枚だけセットし、【給紙】ボタンを押してください。 ➡ 「手差し給紙」 20 ページ
	両面印刷時の設定と異なるサイズ of 用紙がセットされています。	正しいサイズの用紙をセットし、【給紙】ボタンを押してください。 ➡ 「印刷できる用紙と設定」 11 ページ ➡ 「下トレイ」 15 ページ
	ディスクトレイをセットする準備ができました。	ディスクトレイをセットし、【給紙】ボタンを押してください。 ➡ 「ディスクのセット」 24 ページ
	ディスクトレイが正しくセットされていません。	ディスクトレイの向きや表裏を確認してからセットし直し、【給紙】ボタンを押してください。 ➡ 「ディスクのセット」 24 ページ
	手差し給紙に用紙が正しくセットされていないか、内部に用紙が詰まりました。	用紙が詰まっているときは取り除いてください。手差し給紙に用紙を 1 枚だけ正しくセットし、【給紙】ボタンを押してください。 ➡ 「手差し給紙」 20 ページ
	手差し給紙に用紙を深く挿入しすぎたため、用紙が排出されました。	手差し給紙に用紙を正しくセットし直し、【給紙】ボタンを押してください。 ➡ 「手差し給紙」 20 ページ
	ディスクがセットされていないか、非対応のサイズがセットされています。	ディスクを正しくセットし、【給紙】ボタンを押してください。 ➡ 「ディスクのセット」 24 ページ
	用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除き、【給紙】ボタンを押してください。 ➡ 「詰まった用紙の取り除き方」 29 ページ
	フォトカードく 3D フレーム > が表裏逆にセットされたか、印刷の向きが違っています。	手差し給紙に用紙を正しくセットし直し、【給紙】ボタンを押してください。
	印刷時に設定した用紙サイズと、プリンターにセットされている用紙のサイズが異なります。	プリンターに正しいサイズの用紙をセットし、【給紙】ボタンを押してください。

ランプ	状態	対処
	いずれかのインク残量が限界値※ 1 以下になったか、インクカートリッジがセットされていません。	新しいインクカートリッジに交換してください。 ➡ 「インクカートリッジの交換」 39 ページ
	初期充填時に必要なインク残量がありません。	
	新しいインクカートリッジをセットしても、インクカートリッジが正しく認識されていません。	もう一度インクカートリッジをセットし直してみてください。
	いずれかのインクが残り少なくなりました。 インクランプが点灯するまでは印刷できます。	新しいインクカートリッジを準備してください。 インク残量はパソコンの画面で確認できます。 ➡ 『ユーザーズガイド』 - 「メンテナンス」 すぐに交換するときは以下をご覧ください。 ➡ 「インクカートリッジの交換」 39 ページ
	排紙トレイが引き出されていません。	排紙トレイを引き出してください。
	プリンターカバーが開いています。	プリンターカバーを閉めてください。
	本製品以外のプリンタードライバーから印刷データが送信されました。	【ストップ】 ボタンを押して印刷を中止してください。
交互点滅 	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に近付いています。または、限界に達しました。	廃インク吸収パッド※ 2 の交換が必要です。お客様による交換はできません。エプソンの修理窓口へ交換をご依頼ください。 ➡ 「お問い合わせ先」 60 ページ パソコン画面に印刷継続のメッセージが表示されている場合、プリンターの【ストップ】 ボタンを押すと印刷が続き、ランプのエラー表示が一時的に消えます。ただし、このメッセージは、パッドを交換するまで定期的に表示されます。
	外部機器接続ポートに、非対応の機器が接続されています。	外部機器接続ポートには、PictBridge に対応したデジタルカメラなどの機器を接続してください。
	外部機器接続ポートに、USB ハブが接続されています。	外部機器接続ポートは USB ハブを使用できません。USB ケーブルを直接接続してください。
	外部機器接続ポートに接続されている機器からの応答がありません。	外部機器接続ポートには、PictBridge に対応したデジタルカメラなどの機器を接続してください。バッテリー残量など、接続した機器が正常に動作することを確認してください。
	ネットワーク経由の PictBridge を接続中に、外部機器接続ポートに USB ケーブルが接続されています。	外部機器接続ポートから USB ケーブルを取り外してください。

ランプ	状態	対処
	無線 LAN 設定中にエラーが発生しました。	以下の点に注意して、無線 LAN 設定をやり直してください。 - 無線 LAN アクセスポイント側も設定モードにしておく - 無線 LAN アクセスポイントとプリンターとの距離を短くして（3m 以内を目安に）試す
	無線 LAN 設定中にセキュリティエラーが発生しました。	他の無線 LAN 端末が同時に無線 LAN 設定を実行している可能性があります。しばらくしてから設定し直してください。
	プリンターエラーが発生しました。	電源を切り、用紙などが詰まっていることを確認して電源を入れ直してください。 ➡ 「詰まった用紙の取り除き方」 29 ページ エラーが解除されないときはエプソンの修理窓口にご連絡ください。 ➡ 「お問い合わせ先」 60 ページ
	ファームウェアのアップデートに失敗しました（リカバリーモード）。	以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 ① パソコンとプリンターを USB 接続します。 ② エプソンのホームページから最新版のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

※ 1 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。

※ 2 クリーニング時や交換時に排出される廃インクを吸収する部品です。吸収量が限界に達する時期は使用状況によって異なります。限界に達すると、パッドを交換するまで印刷できません（インクあふれ防止のため）。保証期間経過後の交換は有償です。

さまざまなトラブル

印刷品質

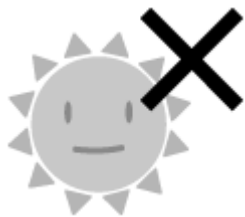
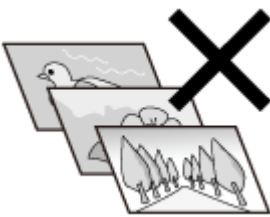
症状・トラブル状態	対処方法
かすれる スジや線が入る 色合いがおかしい・色が薄い 印刷されない色がある  印刷にムラがある モザイクがかかったように印刷される  インクが出ない（白紙で印刷される）	- ノズルが目詰まりしている可能性があります。プリントヘッドの状態を確認してください。 ➔ 「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 44 ページ - インクカートリッジは推奨品（エプソン純正品）を使用することをお勧めします。 - 古くなったインクカートリッジは使用しないことをお勧めします。 ➔ 「インクカートリッジの交換」 39 ページ - プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。 プリンタードライバーからのギャップ調整を行ってください。 ➔ 『ユーザーズガイド』 - 「メンテナンス」 - 「印刷のずれ（ギャップ）調整」 - 写真などは、普通紙ではなくエプソン製専用紙に印刷することをお勧めします。 - エプソン製専用紙には表裏があります。印刷した面がおもて面か確認してください。 ➔ 「印刷できる用紙と設定」 11 ページ - 印刷後の用紙は、十分に乾燥させてからアルバム・クリアファイル・ガラス付き額縁などに入れて保存・展示してください。 印刷後の用紙を乾かすときには、直射日光に当てたり、印刷面を重ねたり、ドライヤーを使ったりしないでください。 ➔ 「印刷後の品質を保つために」 36 ページ - セットした用紙の種類と、印刷設定の「用紙種類」を合わせてください。 ➔ 「[用紙種類] の設定」 13 ページ - プリンタードライバーから印刷品質（きれい）での印刷をお試しください。普通紙で印刷するときに「印刷品質」を「標準」に設定すると、スジが見えることがあります。 ➔ 『ユーザーズガイド』 - 「印刷」 - 「印刷の基本」 - 解像度の高い（画素数の多い）データを印刷してください。携帯電話や解像度の低いカメラで撮影した写真は、画質が粗いため、小さい用紙に印刷することをお勧めします。 解像度は携帯電話・デジタルカメラの機種によって異なります。
約 2.5cm 間隔でスジが入る 文字や罫線がガタガタになる	プリンタードライバーからのギャップ調整を行ってください。 ➔ 『ユーザーズガイド』 - 「メンテナンス」 - 「印刷のずれ（ギャップ）調整」
レーベルへの印刷が濃い・薄い	Epson Print CD をお使いの場合は、印刷設定で濃度を調整してみてください。設定の詳細は「Epson Print CD」のヘルプをご覧ください。

症状・トラブル状態	対処方法
用紙が汚れる	- 通紙（給排紙）をして、製品内部をクリーニングしてください。 ➡ 「内部のクリーニング」 46 ページ - 両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。 ハガキに印刷するときは、宛名面から先に印刷することをお勧めします。 - 本製品で印刷できる用紙をお使いください。 ➡ 「印刷できる用紙と設定」 11 ページ - 用紙は正しい方向にセットしてください。 ➡ 「下トレイ」 15 ページ - 印刷後の用紙は、十分に乾燥させてからアルバム・クリアファイル・ガラス付き額縁などに入れて保存・展示してください。 印刷後の用紙を乾かすときには、直射日光に当てたり、印刷面を重ねたり、ドライヤーを使ったりしないでください。 ➡ 「印刷後の品質を保つために」 36 ページ - フチなし設定をしたときは、以下の用紙を使用することをお勧めします。 写真用紙・フォト光沢紙・フォトマット紙・各種郵便ハガキ・各種エプソン製専用ハガキ - こすれ軽減機能を使ってみてください。 ➡ 「操作パネル」 9 ページ
フチなし印刷ができない	- フチなしの設定にしてください。 ➡ 『ユーザーズガイド』 - 「印刷」 - 「印刷の基本」 - フチなし印刷に対応した用紙をお使いください。 写真用紙・フォト光沢紙・フォトマット紙・各種郵便ハガキ・各種エプソン製専用ハガキ
ハガキに縦長の写真を印刷すると、宛名面と上下が逆になってしまう	ハガキのセット向きを上下逆にしてください。 縦長写真のデータは、撮影時の条件（カメラの向きや仕様）によって、写真の上下（天地）が異なります。
印刷がずれる・はみ出す	- 用紙ガイドを用紙の側面に合わせてください。 ➡ 「下トレイ」 15 ページ - セットした用紙のサイズと、印刷設定の「用紙サイズ」を合わせてください。 ➡ 「印刷できる用紙と設定」 11 ページ - フチなし印刷で写真の周囲が欠けるときは、フチなしはみ出し量を変更してください。 ➡ 『ユーザーズガイド』 - 「トラブル解決」 - 「印刷品質 / 結果が悪い - チェック 3 印刷位置がずれる / はみ出す」

印刷後の品質を保つために

十分に乾燥させる

印刷後の用紙は、以下の点に注意して十分に乾燥させてください。よく乾燥させずに保存すると、にじみが発生することがあります。

		
直射日光に当てない	印刷面を重ねない	ドライヤーなどで乾かさない

光や空気を遮断して保存する

印刷物は光や空気を遮断することで、退色を抑えることができます。乾燥後は以下の点に注意して、速やかにアルバムやクリアファイル、ガラス付き額縁などに入れて保存・展示してください。

	
屋外に展示しない	濡らさない

電源・操作パネル

症状・トラブル状態	対処方法
電源が入らない 電源ランプが点滅・点灯しない	・【電源】 ボタンを少し長めに押してください。 ・電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 ・壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。
電源が切れない	【電源】 ボタンを少し長めに押してください。それでも電源が切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、プリントヘッドの乾燥を防ぐため、電源を入れ直して【電源】 ボタンを押して電源を切ってください。

給紙・排紙

症状・トラブル状態	対処方法
用紙が詰まった	無理やり引き抜かないでください。以下のページの手順に従って取り除いてください。 ➡ 「詰まった用紙の取り除き方」 29 ページ
斜めに給紙される 重なって給紙される 用紙が給紙されない 用紙が排出されてしまう	・用紙を正しくセットしてください。特に、用紙のセット時には必ず用紙ガイドを合わせてください。 ➡ 「下トレイ」 15 ページ ・うまく給紙できないときは、1 枚ずつセットしてください。 ・本製品で印刷できる用紙をお使いください。 ➡ 「印刷できる用紙と設定」 11 ページ ・水平な場所に設置されているか、使用環境に問題がないかを確認してください。 ➡ 「総合仕様」 49 ページ ・製品内部のローラーが汚れている可能性があります。 ➡ 「内部のクリーニング」 46 ページ ・印刷処理が一定の時間中断された可能性があります。印刷処理が一定の時間中断されると、印刷中の用紙が排出されます。

症状・トラブル状態	対処方法
手差し給紙から白紙で排出される	印刷データを送信後、給紙ランプが点滅→点灯になったら用紙をセットしてください。 ➡ 「手差し給紙」20 ページ

その他

症状・トラブル状態	対処方法
ヘッドクリーニングが動作しない	- エラーを解除してください。以下をご覧ください。 ➡ 「ランプが点灯・点滅している」31 ページ - 十分なインク残量がないとヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してください。 ➡ 「インクカートリッジの交換」39 ページ
約10分以上連続して印刷をしている途中、印刷速度が遅くなった	印刷速度が極端に遅くなったときは、印刷を中断し電源の入った状態で 30 分以上放置してください。印刷を再開すると、通常で印刷できるようになります。 高温による製品内部の損傷を防ぐための機能が働いているのが原因ですが、印刷速度が遅くなっても印刷は継続できます。また、電源を切って放置しても、印刷速度は回復しません。
製品に触れた際に電気を感じる（漏洩電流）	パソコンに多数の周辺機器を接続していると、プリンターに触れたときに電気を感じる場合があります。プリンターを接続しているパソコンからアース（接地）を取ってください。
パソコン接続していてトラブルが発生した	パソコン接続時のトラブル対処方法は以下をご覧ください。 ➡ 『ユーザーズガイド』 - 「トラブル解決」
ネットワーク接続していてトラブルが発生した	ネットワーク接続時のトラブル対処方法は以下をご覧ください。 ➡ 『ネットワークガイド』 - 「トラブル解決」 - 「その他のトラブル」 - 「ネットワーク印刷時のトラブル」

メンテナンス

インクカートリッジの交換

交換するインクカートリッジを用意してください。

➡ [「インクカートリッジ型番」 50 ページ](#)



重要

- 交換前に、以下の注意事項をご確認ください。
 - ➡ [「取り扱い上のご注意」 43 ページ](#)
- 交換は速やかに行い、カートリッジを取り外した状態で放置しないでください。

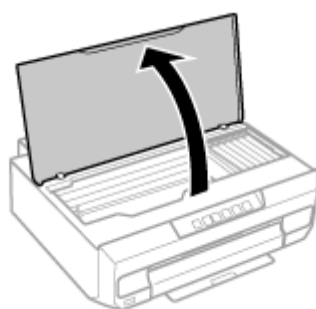


参考

- 大量に印刷するときはインク残量を確認し、事前に予備のインクカートリッジを用意してください。インク残量はプリンタードライバーのユーティリティ画面で確認できます。
 - ➡ [『ユーザーズガイド』 - 「メンテナンス」 - 「プリンターの状態（インク残量 / エラーなど）確認」](#)
- エラーが表示されたときは、以下をご覧ください。
 - ➡ [「ランプが点灯・点滅している」 31 ページ](#)

インクカートリッジの交換

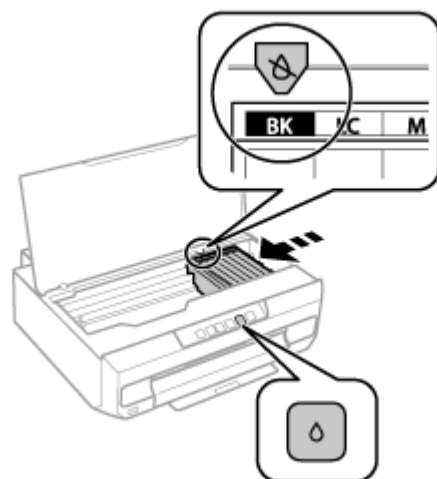
1. ディスクトレイがセットされていたら取り出してください。
2. プリンターカバーを開けます。



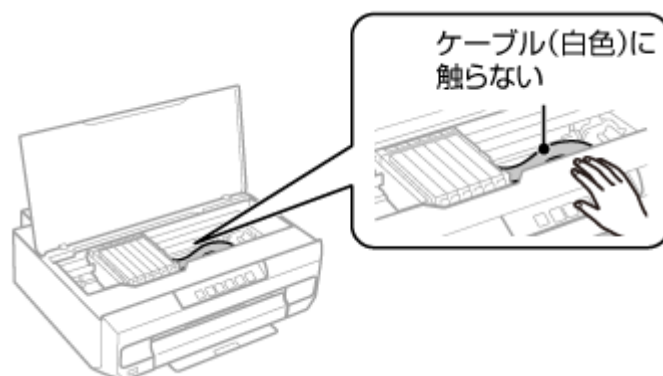
3. **【インク】** ボタンを押します。

インクランプが点滅または点灯している場合は、プリントヘッドが  マークの位置に移動します。

インクランプが消灯している場合は、プリントヘッドが交換位置に移動します。手順 6 に進んでください。



内部のケーブル（白色）には触らないでください。

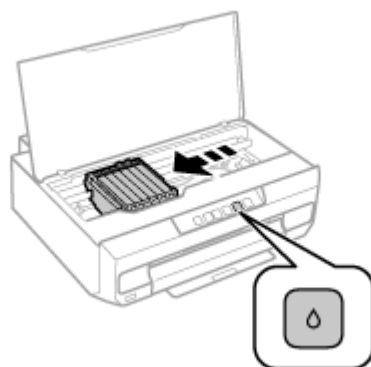


4. 交換が必要なインクカートリッジ（ マークの位置にある色）を確認します。

交換が必要なインクカートリッジが他にもある場合は、【インク】ボタンを押すたびに  マークの前で停止します。

5. 再度【インク】ボタンを押します。

インクカートリッジ交換位置へ移動します。

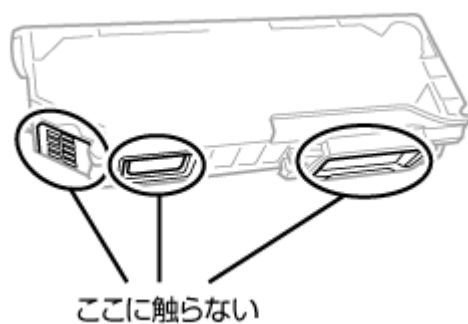


6. 新しいインクカートリッジを袋から出して、キャップを取り外します。

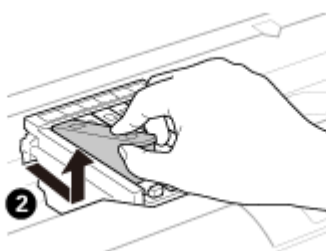
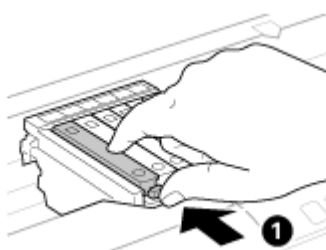


重要

カートリッジの下図の部分には触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。

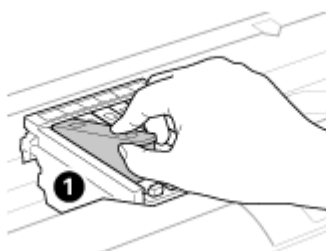


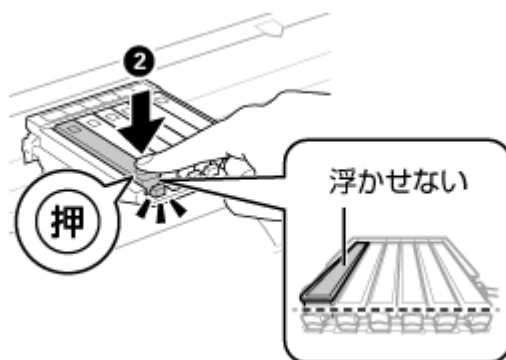
7. ツメを押してインクカートリッジを外し、斜めに引き上げて取り出します。



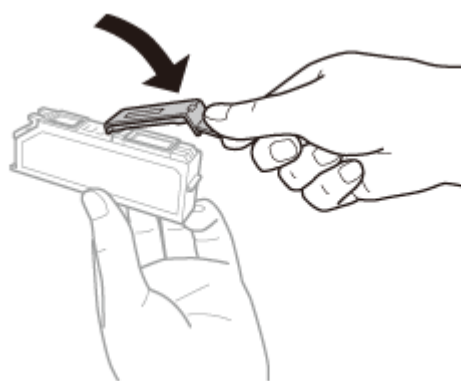
8. 新しいインクカートリッジを図のように斜めに挿入し、[押] の部分をゆっくり押します。

正しく挿入されると「カチッ」と音がします。

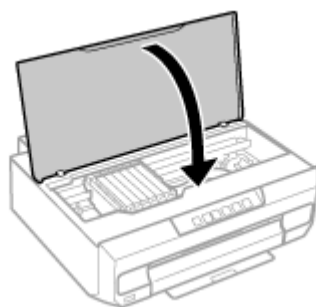


**重要**

取り外したインクカートリッジは、インク汚れや乾燥を防ぐために、インク供給孔部にキャップを取り付けて保管・廃棄してください。

**9. プリンターカバーを閉じます。**

インク充填が始まります。電源ランプの点滅が点灯に変わるまで（約2分）電源を切らないでください。

**参考**

インクランプが消えないときは、インクカートリッジをセットし直してみてください。

以上で終了です。

取り扱い上のご注意

- カートリッジは冷暗所で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。また、開封後は6ヵ月以内に使い切ってください。
- カートリッジの袋は、本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。
- カートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3時間以上室温で放置してからお使いください。
- カートリッジの IC チップなどには触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
➡ [「インクカートリッジの交換」39 ページ](#)
- カートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- インク充填中は電源を切らないでください。充填が不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- 電源を切った状態でカートリッジを交換しないでください。また、プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- カートリッジを取り外した状態で本製品を放置したり、カートリッジ交換中に電源を切ったりしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- カートリッジセット部に異物を入れたり落としたりしないでください。印刷できなくなるおそれがあります。落としてしまったときは、セット部に傷をつけないように取り除いてください。
- カートリッジは IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンターの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- 取り外したカートリッジは、インク汚れや乾燥を防ぐために、インク供給孔部にキャップを取り付けて保管・廃棄してください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- カートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- カートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

インクの消費

- プrintヘッドを良好な状態に保つため、印刷以外にもインクカートリッジ交換時・ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- モノクロやグレースケール印刷でも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

純正インクカートリッジのお勧め

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

インクカートリッジの回収

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。

より身近に活動に参加いただけるように、店頭回収ポストに加え、郵便局や学校での回収活動を推進しています。使用済みのエプソン純正インクカートリッジを、最寄りの「回収箱設置の郵便局」や「ベルマークのカートリッジ回収活動に参加している学校」にお持ちください。

回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。

➡ <http://www.epson.jp/recycle/>



学校に持っていこう！

インクカートリッジ



里帰リプロジェクト

郵便局に持っていこう！

インクカートリッジの廃棄

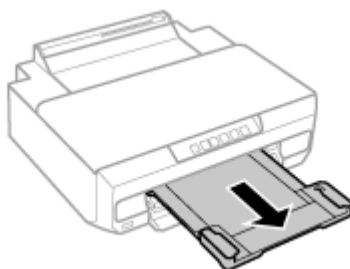
一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

ノズルチェックとヘッドクリーニング

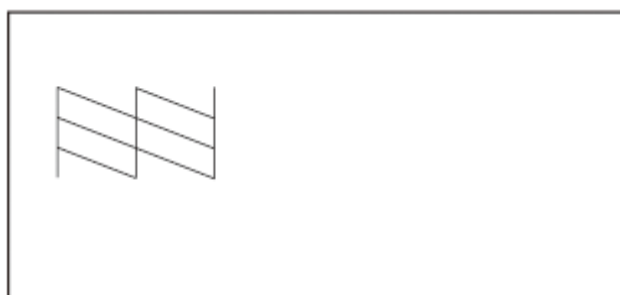
印刷結果にスジが入ったり、おかしい色味で印刷されたりするときは、ノズル（インクの吐出孔）の状態を確認してください。また写真を印刷する前にも、ノズルチェックをすることをお勧めします。

**重要**

- ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に2回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、電源を切って6時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。時間をおくことによって、目詰まりが解消し、正常に印刷できるようになることがあります。それでも改善されないときは、エプソンの修理窓口にて修理をご依頼ください。
➡ [「お問い合わせ先」 60 ページ](#)
- ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。
- プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることを防ぐため、電源の入 / 切は必ず【電源】ボタンで行ってください。
- プリントヘッドを常に最適な状態に保つために、定期的に印刷することをお勧めします。

1. 下トレイに A4 サイズの普通紙をセットします。➡ [「下トレイ」 15 ページ](#)**2. 【電源】 ボタンを押して電源を切ります。****3. 排紙トレイを引き出します。****4. 【インク】 ボタンを押したまま電源を入れ、電源ランプが点滅したら指を離します。**

ノズルチェックパターンが印刷されます。

5. ノズルチェックパターンを確認します。

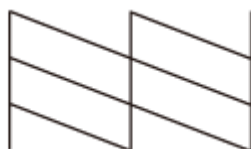
ノズルチェックパターンは明るい場所で確認してください。電球色の蛍光灯などの下で確認すると、ノズルチェックパターンが正しく確認できないことがあります。

- 印刷されない線がある



ノズルが目詰まりしています。手順 6 に進んでください。

- 全ての線が印刷されている



ノズルは目詰まりしていないため、ヘッドクリーニングは不要です。作業を終了してください。
他の原因が考えられます。以下を参照して対処してください。

➡ [「印刷品質」 35 ページ](#)

6. 【インク】 ボタンを 3 秒間押し、電源ランプが点滅したら指を離します。

ヘッドクリーニングが開始されます。電源ランプの点滅が点灯に変わったら、ヘッドクリーニングは終了です。



重要

ヘッドクリーニング中は電源を切らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

7. ヘッドクリーニングが終わったら、再度ノズルチェックパターンを印刷して確認します。

ノズルチェックパターンの全ての線が印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返してください。

以上で終了です。

内部のクリーニング

印刷物に汚れやこすれがあるときや、用紙が正しく給紙されないときは、製品内部（ローラー）をクリーニングしてください。用紙に同梱されているクリーニングシートは使用できません。

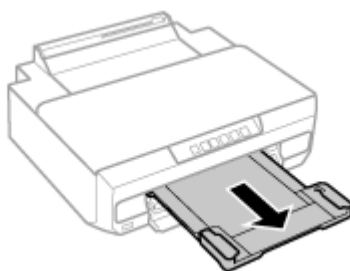


重要

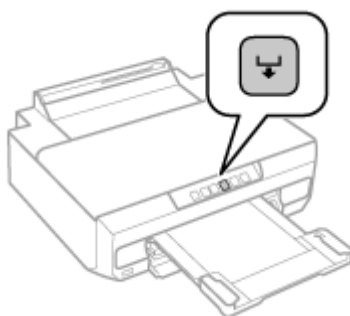
製品内部は、布やティッシュペーパーなどで拭かないでください。繊維くすなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

1. 下トレイに A4 サイズの普通紙（コピー用紙など）をセットします。

2. 排紙トレイを引き出します。



3. 【給紙】 ボタンを押して通紙（給紙 / 排紙）します。



4. 用紙にインクの汚れが付かなくなるまで繰り返します。

以上で終了です。

輸送の仕方

輸送の前に以下の作業を行ってください。

1. 【電源】 ボタンを押して、電源を切ります。

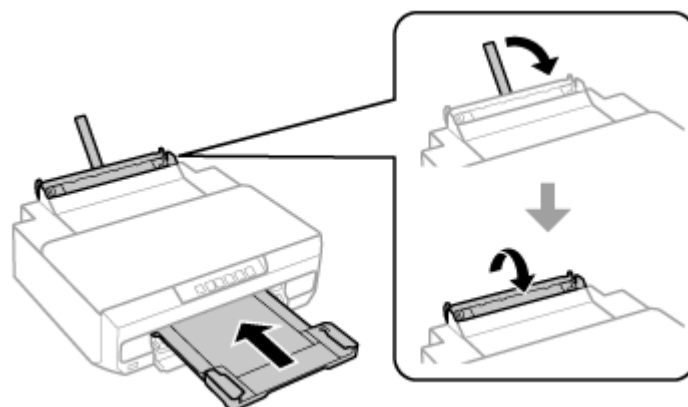
プリントヘッドが右側のホームポジション（待機位置）に移動し、固定されます。



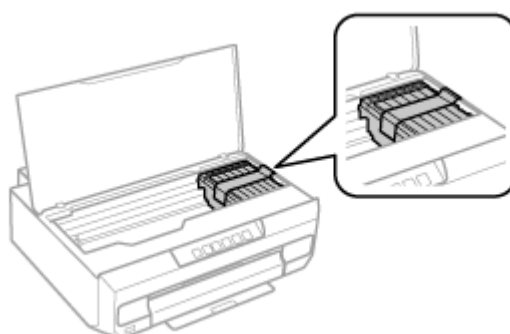
重要

- インクカートリッジは取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- プrintヘッドの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、プリントヘッドがホームポジションに移動せず固定できません。電源を入れ直し、必ず【電源】ボタンを押して電源を切ってください。

2. 手差し給紙の用紙サポートや排紙トレイなどを元の位置に戻します。



3. 用紙などがセットされていないことを確認します。
4. ケーブル類を取り外します。
5. インクカートリッジセット部が動かないように、市販のテープなどでしっかり固定します。



6. 保護材を取り付け、本製品を水平にして梱包箱に入れます。

以上で終了です。



重要

保護材の取り付けや輸送時は、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で取り扱ってください。



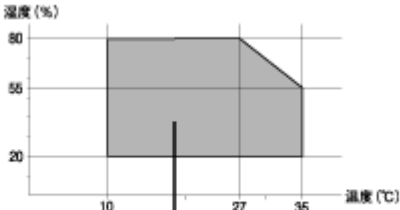
参考

- インクカートリッジセット部を固定したテープは輸送後直ちに剥がしてください。テープの種類によっては、長時間貼り付けたままにしておくと糊が剥がれにくくなることがあります。
- 輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドをクリーニングしてください。
➔ [「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 44 ページ](#)

製品仕様とご注意

製品仕様とご注意

総合仕様

ノズル配列	黒インク	180 ノズル ×1 列
	カラーインク	180 ノズル ×5 色
インク色		ブラック・シアン・マゼンタ・イエロー・ライトシアン・ライトマゼンタ
最高解像度		5760×1440dpi（最小 1/5760 インチのドット間隔で印刷）
最小ドットサイズ		1.5pl（ピコリットル）
インターフェイス		Hi-Speed USB×2（PC 接続用、PictBridge 用） 10BASE-T/100BASE-TX
定格電圧		AC100V
定格周波数		50 ～ 60Hz
定格電流		0.7A
消費電力	印刷時 （ISO/IEC24712 印刷 パターン）	約 21W
	スリープモード時	約 1.9W
	電源オフ時	約 0.2W
外形寸法	収納時	幅 390× 奥行き 338× 高さ 141mm
	使用時	幅 390× 奥行き 598× 高さ 196mm
質量（インクカートリッジ・電源コード・ディスプレイ含まず）		約 5.0kg
動作時の環境	温度	10 ～ 35 ℃ 20 ～ 80%（非結露）  この範囲でお使いください
	湿度	
保管時の環境	温度	-20 ～ 40 ℃
	湿度	5 ～ 85%（非結露）
省資源機能		両面印刷機能・割り付け印刷機能・縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。

対応 OS ※ 1	Windows XP (SP1 以降) ・ Windows XP Professional x64 Edition ・ Windows Vista ※ 2 ・ Windows 7 ※ 2 ・ Windows 8 ※ 2 Mac OS X v10.5.8 ・ Mac OS X v10.6.x ・ Mac OS X v10.7.x ・ Mac OS X v10.8.x
-----------	--

※ 1 最新の OS 対応状況はエプソンのホームページをご覧ください。

➡ <http://www.epson.jp/support/taiou/os>

※ 2 32 ビット版 ・ 64 ビット版に対応。

インクカートリッジ型番



色	型番	増量型番	備考
ブラック	ICBK70	ICBK70L	70 番と 70L 番は混在して使用できます。
シアン	ICC70	ICC70L	
ライトシアン	ICLC70	ICLC70L	
マゼンタ	ICM70	ICM70L	
ライトマゼンタ	ICLM70	ICLM70L	
イエロー	ICY70	ICY70L	
6 色パック	IC6CL70	IC6CL70L	

- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。
- カタログなどで公表されている印刷コストは、JEITA（社団法人電子情報技術産業協会）のガイドラインに基づき、2 回目以降のカートリッジで算出しています。

有線 LAN 仕様

準拠規格	IEEE 802.3i/u、IEEE 802.3az ※1
通信モード	10BASE-T ※2 ・ 100BASE-TX 自動または固定の選択が自由
コネクタ形状	RJ-45
ポート規制	Auto-MDIX 対応

※ 1 接続機器が IEEE802.3az に対応している必要があります。

※ 2 社団法人 VCCI 協会の技術基準への適合及び電磁障害リスク低減のため、カテゴリ 5e 以上の STP（シールドツイストペア）ケーブルを使用すること

無線 LAN 仕様

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n
無線規格	ARIB STD-T66・RCR STD-33
周波数範囲	2.400 ～ 2.4835 GHz（1 ～ 13ch）・ 2.471 ～ 2.497 GHz（14ch）
チャンネル	IEEE 802.11b：1 ～ 14ch IEEE 802.11g：1 ～ 13ch IEEE 802.11n：1 ～ 13ch ※ 1
伝送方式	DS-SS（IEEE 802.11b） OFDM（IEEE 802.11g/n）
通信速度	IEEE 802.11b：1 ～ 11Mbps モード IEEE 802.11g：6 ～ 54Mbps モード IEEE 802.11n HT20：6.5 ～ 72.2Mbps モード
通信モード	インフラストラクチャー・アドホック※ 2
セキュリティ	WEP（64/128bit）・WPA-PSK（TKIP/AES）※ 3

※ 1 20MHz 帯域幅（HT20）のみ

※ 2 IEEE802.11n には非対応

※ 3 WPA2 規格に準拠し、WPA・WPA2 Personal 規格に対応。

通信速度は、規格上の通信速度表記であり、理論上の最大通信速度や実際の通信可能速度を示すものではありません。実際の通信速度は、環境により異なります。

対応画像ファイル

デジタルカメラ	DCF ※ 1 Version2.0 規格準拠
対応画像ファイルフォーマット	DCF ※ 1 Version1.0 または 2.0 規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG ※ 2 形式の画像ファイル
有効画像サイズ	横：80 ～ 10200 ピクセル 縦：80 ～ 10200 ピクセル
最大ファイル数	999 個

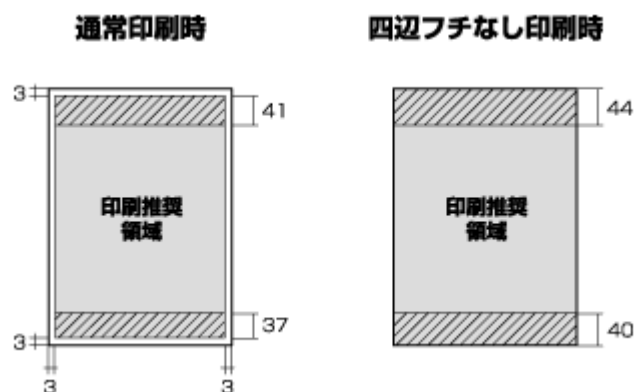
※ 1 社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称

※ 2 Exif Version2.3 準拠

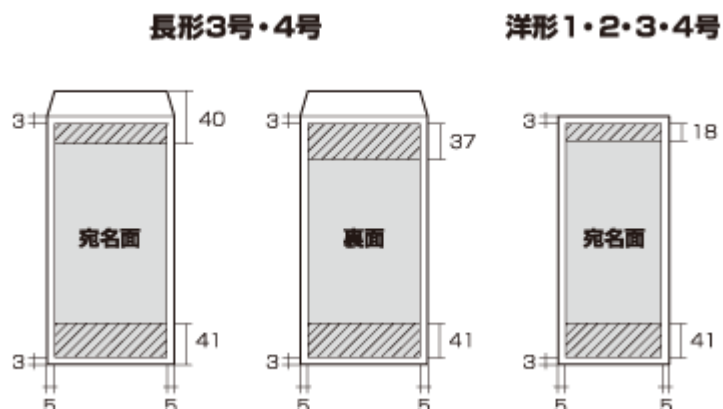
印刷領域（単位 mm）

本製品の機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

定形紙



封筒



規格と規制

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条 通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条 など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

商標

- Mac OS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON ステータスモニターはセイコーエプソン株式会社の商標です。

- EPSON PRINT Image Matching はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- AOSS (TM) は株式会社バッファローの商標です。
- PictBridge は商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。





本製品は、PRINT Image Matching III に対応しています。PRINT Image Matching に関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。PRINT Image Matching に関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

注意事項

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはパソコン、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償いたしかねます。

揮発性物質の放散

本製品は RAL-UZ171 およびエコマークの環境ラベルに定められた揮発性物質の放散基準を満たしています。ただし、使い始めなどに臭いが気になるときは換気してお使いください。

電波

機器認定

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名： WLU6117-D69(RoHS)
- 認証番号： 003WWA110893
003GZA110894

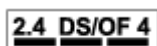
周波数

本製品は、2.4GHz 帯の 2.400GHz から 2.497GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

本製品の使用周波数は、2.4GHz 帯です。この周波数では、電子レンジなどの産業・科学・医学用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用周波数を変更するかまたは本機の運用を停止（無線の発射を停止）してください。
3. 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、カラリオインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

本製品は Wi-Fi Alliance の承認を受けた無線機器です。他メーカーの Wi-Fi 承認済みの無線機器とも通信が可能です。Wi-Fi 対応製品の詳細は Wi-Fi Alliance のホームページ（<http://www.wi-fi.org>）をご参照ください。



この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS、OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

セキュリティ

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

本製品などの無線 LAN 製品では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品の日本国外への持ち出し

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

プリンター本体の廃棄

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

サービス / サポートのご案内

サービス / サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートの詳細は、以下のページでご案内しています。

- ➡ [「お問い合わせ先」 60 ページ](#)
- 本製品に関するお問い合わせ先
カラリオインフォメーションセンター
- マニュアルダウンロードサービス
製品マニュアル（取扱説明書）の最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。
➡ <http://www.epson.jp/support/> - 「製品マニュアルダウンロード」

お問い合わせの前に

確認事項

必ず以下のトラブル対処方法をご確認ください。

- ➡ 本ガイドの「困ったときは」
- ➡ 『ユーザーズガイド』
- ➡ 『ネットワークガイド』

それでもトラブルが解決しないときは、以下の事項をご確認の上、お問い合わせください。

① 本製品の型番	EP-306
② 製造番号	製品に貼られているラベルに記載されています。 
③ どのような操作	☐ パソコンから印刷 ☐ その他（ ）
④ 印刷データ	☐ 写真 ☐ 文章 ☐ その他（ ）
⑤ エラー表示	☐ ランプ ☐ パソコン画面 メッセージ内容：

⑥ 用紙の種類	☐ 普通紙 ☐ 写真用紙 ☐ ハガキ ☐ その他 ()
⑦ 用紙のサイズ	☐ A4 ☐ ハガキ ☐ L判 ☐ その他 ()

保証書

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記載漏れがないかご確認ください。

これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品と消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 5 年間です。

故障の状況によっては弊社の判断により、製品本体を、同一機種または同等仕様の機種と交換等させていただくことがあります。なお、同等機種と交換した場合は、交換前の製品の付属品や消耗品をご使用いただけなくなる場合があります。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの種類と受付窓口

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。

引取修理サービス (ドア to ドアサービス)	 ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。お客様による梱包・送付の必要はありません。修理完了品を最短で 3 日後にお届けします。 修理費用とは別にサービス料金 1,500 円 / 台 (税抜き、保証期間内外とも一律) が必要です。
送付修理サービス (デリバリーサービス)	お客様により修理品を梱包・送付していただきます。修理完了品を最短で 3 日後にお届けします。

持込修理サービス (クイックサービス)	修理品を修理窓口へ直接お持ち込みいただき、その場で修理いたします。所要時間の目安は 1 ～ 2 時間です。
------------------------	---

保守サービスの詳細は、次のいずれかでご確認ください。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソン修理センター
➡ [「お問い合わせ先」 60 ページ](#)
- エプソンのホームページ
➡ <http://www.epson.jp/support/>



重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。
これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

お問い合わせ先

●エプソンのホームページ <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのホームページです。

インターネット
FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
<http://www.epson.jp/faq/>

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！

<http://myepson.jp/>

▶カンタンな質問に答えて会員登録。

●製品に関するご質問・ご相談先(カラリオインフォメーションセンター)

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

【電話番号】 **050-3155-8011**

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-589-5250へお問い合わせください。

●エプソン プラス・ワンサービス

“電話だけではわかりにくい” “もっと深く知りたい” などのご要望にお応えする有料サービスです。

○遠隔サポートサービス

インターネットを介してお客様のパソコン画面をオペレーターのパソコンに表示し、画面共有しながら操作・設定方法などをアドバイスさせていただきます。有料サービスです。

※サービスの概要および注意事項等、詳細事項はエプソンのホームページでご確認ください。 <http://www.epson.jp/es/>

【電話番号】050-3155-8888

◎上記電話番号がご利用できない場合は、042-511-2788へお問い合わせください。

○おうちプリント訪問サービス

2つのメニューをご用意。ご自宅にお伺いする有料サービスです。

・おたすけサービス : カラリオ製品の本体設置や、無線LANの接続・設置などを行います。

・ホームレッスン : カラリオ製品の使い方、パソコンから写真印刷する方法などのレッスンを行います。

※サービスの概要および注意事項等、詳細事項はエプソンのホームページでご確認ください。 <http://www.epson.jp/support/houmon/>

【電話番号】050-3155-8666

◎上記電話番号がご利用できない場合は、042-511-2944へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所 在 地	電 話 番 号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-0863 松本市白坂2-4-14 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリベア(株)	050-3155-7140
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 ウイングビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

*修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。 <http://www.epson.jp/support/>

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・鳥取修理センター:0857-77-2202

●引取修理サービス(ドアtoドアサービス)に関するお問い合わせ先

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

【電話番号】 **050-3155-7150**

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

*引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。 <http://www.epson.jp/support/>

●講習会のご案内

詳細はホームページでご確認ください。 <http://www.epson.jp/school/>

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認いただけます。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階
【開館時間】 月曜日～金曜日 10:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス <http://www.epson.jp/shop/> または通話料無料 0120-545-101)でお買い求めください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのホームページ(<http://www.epson.jp/support/>)にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン 株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

コンシューマ(IJP) 2016.03